＜企業・法律事務所の方々へ＞
世界子どもの日キャンペーンへのご協賛のお願い

認定NPO法人ヒューマンライツ・ナウ

Human Rights Now

2019/10/15現在

ヒューマンライツ・ナウとは

ヒューマンライツ・ナウ(Human Rights Now, HRN)は、日本を本拠とする、日本で初めての国際人権NGOです。
世界で今も続く深刻な人権侵害をなくすため、法律家、研究者、ジャーナリスト、市民など、人権分野のプロフェッショナルたちが中心となり、2006年に発足。HRNは、国際的に確立された人権基準に基づき、紛争や人権侵害のない公正な世界をめざし、日本から国境を越えて人権侵害をなくすために活動しています。

世界子どもの日とは？

11月20日の「世界子どもの日（Universal Children's Day）」は、1954年、国連によって制定されました。
そして、1989年のこの日、国連総会で「子どもの権利条約」が採択されました。これは、すべての子どもに人権を保障する初めての国際条約であり、この条約が生まれたことにより、世界中で子どもの保護への取り組みが進み、これまでに多くの成果が生まれました。

世界子どもの日キャンペーン

世界でも日本でも、多くの子どもたちが大切にされず、苦しく、悲しい思いをしています。そんな現状を変えたい。子どもたちのために、子どもたちと一緒に、より安全で平和な世界を築きたい。そんな想いで、HRNは、世界こどもの日にあわせて参加型のキャンペーンを行います。

- **第2回世界子どもの日ユース・フェスティバル**
  （開催日：2019年11月16日（土）　於：法政大学）

- **第5回世界子どもの日中高生映像スピーチコンテスト**
  （募集期間：2019年7月10日～10月15日、審査日：10月21日（月））

- **チャリティーウォーク**
  （開催日：2019年11月30日（土）　於：聖心女子大学と周辺地域）

世界子どもの日
ユース・フェスティバル

次世代を担う子ども&ユースが参加し、より平和でやさしい未来を実現するために、
出会い、交流し、行動につなげていただく参加型のフォーラムを開催します。
参加は無料で、多彩なゲストを迎えたトークイベント、ブース出展、ワークショップ等を
行い、500人以上の参加を目標にしています。
＜SDGsとの関連＞
SDGsの理念「誰一人取り残さない−No one will be left behind」に基づき、
さまざまな問題の根底にある「人権」という概念を身近にしてもらう機会としています。

＜概要＞
日時・場所：11月16日(土)＠法政大学
規模：500名以上のご来場を目指しています（中高生・大学生・大人）
参加費：無料

＜内容＞
トークイベント、エシカル・ファッションショー、ワークショップ、ブース出展、
中高生スピーチ披露（映像スピーチコンテスト優勝者）
※　今年は、中高生等からなる実行委員会主催とし、HRNはサポートをします。

ユース・フェスティバル 今年の内容　2019/10/15現在

- トーク　ゲスト：
  サヘル・ローズ氏（女優）、堀潤氏（ジャーナリスト）、
  鈴木茂義氏（LGBT活動家）、大西連氏（貧困問題活動家）
  のご登壇が決定。
- ワークショップ、ブース：出展団体募集中。
- エシカル・ファッションショー
- 中高生スピーチ披露：映像スピーチコンテスト優勝者による
  スピーチ披露

昨年の内容

昨年のユース・フェスティバルの内容の一部を
ご紹介します。下記のほか、サヘル・ローズさんらによる
プレナリートーク、エシカル・ファッションショーなど
盛り上がる企画が満載の一日でした。
詳細はこちらもご覧ください：http://hrn.or.jp/youth_festival/

出展団体：

在日カナダ大使館、慶應大学公認学生団体 S.A.L
國學院大學公認サークルCharity&Volunteer　優志
世界の医療団、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

他にも、中学校・高校の生徒による出展や
子どもの権利にとりくむNPOや団体が出展しました。

堀潤氏(ジャーナリスト/元NHKアナウンサー)による「伝える人になろう！」講座

TOKYO MX「モーニングCROSS」、J-WAVE「JAM THE WORLD」など多方面で活躍中の堀潤氏をお迎えして、自分の「想い」を伝えられるようになるためのレクチャーを開催しました。

中高生スピーチコンテスト優勝者スピーチ披露

同じ「世界子どもの日」キャンペーンの一環である当コンテストの優勝者のスピーチによって、実際の中高生の声を届けました。

話してみよう！子どもの権利ワークショップ

いじめ、ブラック部活、ジェンダーの違い。実際の生活の中で身近なこれらの問題について、普段は余り話すことはないとしても、実は中高生はいろんなことを思っているはずです。子どもの権利の専門家によるファシリテートによって、子ども同士で思い切り話していただきました。

第5回世界子どもの日
中高生映像スピーチコンテスト
～わたしたちの声が、勇気が、世界を変えていく～

Human Rights Now

（小・）中・高校生が人権について考え発言する映像スピーチコンテストを実施します。
優勝者には、ジャーナリストで審査員の堀潤氏によるスピーチ指導が行われたのち、

11月16日のユース・フェスティバルでスピーチ披露を行っていただきます。

また、入賞者の映像は多くの方に知っていただけるよう、世界人権デー(12月10日)に向けてユーチューブで公開します。

＜コンセプト＞

マララ・ユスフザイさんのように、中高生自らが勇気を出して「子どもの権利」のために声をあげて伝えていくことをコンセプトとしています。

＜今年度審査員＞

濱田邦夫（弁護士）・堀潤（ジャーナリスト）・三浦まり（上智大学教授）・中島早苗

（認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン代表理事）・小笠原友輔(弁護士)

募集期間：
2019年7月10日
～10月15日

スピーチコンテスト過去実績

＜過去4回の応募者数＞
第1回2015年度　8名　　第2回2016年度　30名
第3回2017年度　22名　　第4回2018年度　12名

＜昨年度入賞作品＞
優　勝:「学ぶことは、世界を知り、考えること。」山田 寧々さん（13歳）
第2位:「ネパールの女の子の人権」
　　ネウパネ サミサさん（YSCグローバル・スクール 16歳）
第2位:「復興のために私ができること」
　　福田 愛莉さん（玉川聖学院中等部 3年）
第3位:「百人のWIN」久米 達希さん（京都府立北桑田高校 1年）

2017年度優勝者スピーチ披露の様子
（世界子どもの日チャリティウォーク＆ラン閉会式にて）

堀潤氏による入賞者スピーチ指導の様子

入賞作品はスピーチ指導ののちYouTubeにて公開

チャリティーウォーク

日時：2019年11月30日（土） 9:45（受付開始）～12:30

場所：聖心女子大学を出発し、周辺の大使館等を巡ります
（昨年とほぼ同じコースを予定）。

【参考】昨年のコース：ノルウェー、スイス、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、
フィンランド、ドイツの5つの大使館、駐日EU代表部、有栖川宮記念公園など

参加費： 大人3,500円、大学生2,500円、中高生1,500円、小学生以下無料

特別ゲスト： ハシナカールビー氏（インドのパートナー団体の代表で炭鉱での児童労働を根絶させた方です）が来日して、一緒に歩いてくださることになりました！

詳細・申し込みはこちらから： https://hrn.or.jp/walk/

世界子どもの日チャリティウォーク＆ラン
（2000年～2018年、計9回）

HRNの子どもの権利のための活動

●インドにおける児童労働

問題：
インド北東部のメガラヤ州で、約7万人の子どもたち（大半は人身売買による連行）が、危険な炭鉱での労働を強いられていました。

アクション：
2010年、現地人権団体と事実調査を実施、デリーの記者会見では炭鉱での児童労働根絶を訴えました。

結果：
2014年、インドに新設された「緑の裁判所」の決定でこの炭鉱は閉鎖となりました。

●SDGs 16.2項「子どもに対する暴力をなくそう」への取り組み

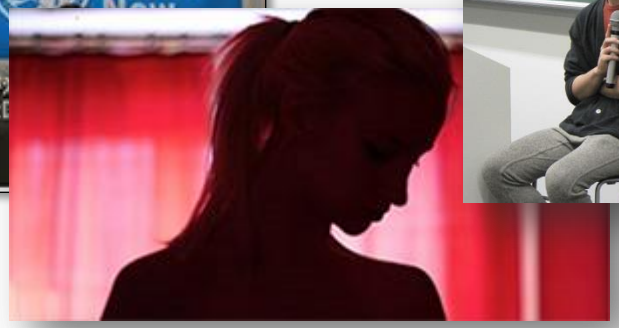
活動：
HRNは、GPeVAC（子どもに対する暴力撲滅のためのグローバル・パートナーシップ）日本フォーラムに参加し、SDGs 16.2項「子どもに対する暴力の根絶」を目指して活動。日本フォーラムはロビー活動を行い日本政府に「子どもに対する暴力撲滅グローバル・パートナーシップ」加盟を促してきました。

結果：
日本政府は、2018年2月にスウェーデンで行われた「子どものための2030アジェンダ：ソリューションズ・サミット」にて、子どもに対する暴力撤廃を約束するパスファインディング国になることを表明しました。

●紛争地や難民の子どもの権利

イラク：
戦争で使われた兵器の影響で新生児に先天性障がいが多発している事実について報告書を公表しました。

ロヒンギャ：
2018年1月に行った現地調査をもとに、ジュネーブで行われた第37回人権理事会にて「ロヒンギャの子どもの権利に関する口頭声明」を発表しました。



Human Rights Now

●児童ポルノ

報告書：

2016年9月日本における児童ポルノに関する調査報告書を公表。

「日本では今も児童ポルノと疑われる作品が店舗やインターネットを通じて入手可能な状態にある」「法律は絵に描いた餅になっている」とし、捜査当局に「ゼロトレランス」の姿勢で臨むことなどを提言しました。

しかし、未だに日本には、性的搾取に苦しむ子どもたちがいます。引き続き少女や子どもの性的搾取、児童ポルノ根絶に向けて、取り組みを強化します。

●ブラック校則・ブラック部活問題

問題：

2017年、社会問題として議論が巻き起こった高校の黒髪強要事案に端を発した「ブラック校則」や生徒も先生も疲弊していく「ブラック部活」が起きています。

活動：

・ブラック校則とブラック部活に関するイベントを開催し、NPO法人ストップいじめ！ナビ代表の荻上チキ氏、名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授の内田良氏を招き、議論を行いました。同イベントはニコニコ動画で生配信されるなど、注目を集めました。

・2017年12月に国連子どもの権利委員会に情報提供を行いました。

ご協賛のお願い

プラチナスポンサー　30万円

ゴールドスポンサー　10万円

シルバースポンサー　5万円

特典1：　貴社名とロゴを下記に掲載させていただきます。

・ユース・フェスティバルのメイン会場内

・ユース・フェスティバルの特設ウェブサイト　https://youthfestival2019.wixsite.com/index

・スピーチコンテストの特設ウェブサイト　https://hrn.or.jp/speech/

・メディア等への広報時（貴社名のみ）

・HRN会報（貴社名のみ）

特典2：　チャリティーウォークに、通常大人一名3500円のところ、社員3名様まで無料ご招待いたします。

※　ユース・フェスティバル、スピーチコンテストのみのスポンサーについてもご相談ください。

※　ブース設置のみも可能です。ご相談ください。

皆様からの協賛金は、世界子どもの日キャンペーンの運営による子ども・ユース達へのエンパワーメントのほか、HRNの子どもの権利を守る活動にあてさせていただきます。

このほかのご協力について

- バナー広告を是非お願いいたします。

（HRNトップページに5-20万円のバナー広告掲載をいたします。大きさ・期間によって、広告料が異なります。詳細は担当者にご相談ください。）

- 社員様による当日ボランティアも歓迎いたしております。

- ユース・フェスティバル、チャリティウォークへの皆様のご参加をお待ち申し上げております。

お問い合わせ先

ヒューマンライツ・ナウ事務局

Email: child.campaign@hrn.or.jp

担当：山口、伊東

何卒お力添えの程、よろしくお願いいたします！！